

ダニエル・カールの

聞きたい! 消防団

第32回

群馬県高崎市消防団

今回は、東京駅から上越・北陸新幹線で約1時間、群馬県の高崎市をお訪ねしました。

高崎市消防団は、バラエティ豊かな10の方面隊がある中で、バイタリティ溢れる幹部を中心に、地域防災の中核として日々活動されているそうです。

そんな高崎市消防団のお話を須藤欣司団長、

高橋喜良東部方面隊長、寺崎正親西部方面隊長、野尻重雄南部方面隊長、小林浩二北部方面隊長、中里明義箕郷方面隊長、松本昌造群馬方面隊長、前川治久新町方面隊長、長谷川亘吉井方面隊長、高崎市等広域消防局の植原芳康局次長から伺いましょう。



後列左から、植原局次長、高橋方面隊長、小林方面隊長、寺崎方面隊長、前川方面隊長、中里方面隊長
前列左から、野尻方面隊長、須藤団長、ダニエル・カール、長谷川方面隊長、松本方面隊長

※各方面隊長の階級は副団長

※高崎市等広域消防局で撮影

高崎市の概要

ダニエル さっそくですが高崎市のことを詳しく教えてください。

植原局次長 高崎市は、本州のほぼ中央に位置し、商業が盛んなまちです。人口は、約37万3千人を擁しています。

関越・北関東・上信越高速道や上越・北陸新幹線が交差し、全国有数の交通拠点を誇ります。

また、白衣観音やパワースポットの榛名神社等を有するほか、だるまの生産量が日本一であるなど、「縁起の良い」、「元気いっぱい」のまちです。

平成29年には体育館「高崎アリーナ」が、令和元年には「高崎芸術劇場」が開館するなど、「人、もの、情報」が集まり、ますます活気づいてきています。

さらに、豊かな文化と知的資源といったまちづくりの可能性を広げる貴重な財産を有しており、高崎音楽祭や高崎映画祭などの市民活動が盛んに行われているほか、6つの大学と3つの短期大学が存在する「大学のまち」となっています。



ダニエル 今、お話に出てきましたが、実は、以前、高崎市でだるまをいただいたんです。今回、無事目標を達成できたということで、だるまに目を入れることになりました。それで、今度、そのだるまを納めにくることになったんです。私も縁起の良いまちにあやからせていただきました！



植原局次長 少林山というだるま寺が有名です。

また、お正月（元旦・2日）には、全国で最も早い「高崎だるま市！」を高崎駅西口駅前通りで開催していますので、ぜひおいでください。

高崎市消防団の概要

ダニエル そんな高崎市を守る消防団の概要を教えてください。

須藤団長 昭和22年にそれまでの警防団が廃止され、高崎市消防団が設置されました。その後、町村合併を繰り返しながら再編し、方面隊別担当区域制を導入しました。平成の大合併の際には合併町村の消防団をそれぞれ倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名、吉井方面隊とし、旧高崎市の東部、西部、南部、北部方面隊と合わせて10方面隊制となり、分団数は57個分団となりました。

平成25年10月には、消防団組織の活性化、次世代の担い手育成などを目的として学生分団を発足し、現在の分団数は58個分団となっています。

令和2年1月1日現在、10方面隊、58個分団、条例定数1,520人に対して1,315人で構成されています。そのうち15人の女性団員、56人（うち女性25人）の学生分団員が所属しています。

また、普通消防ポンプ自動車51台、小型動力ポンプ積載車12台、破壊工作車1台を保有しています。

ダニエル 条例定数1,520人ですか！ 規模

が大きい消防団なんですね！ 管轄されている区域も広そうですね。



須藤団長 高崎市は東西に広いです。東側にある新町は埼玉県に接していて都会に近いですし、西側は長野県に接しています。関東平野の北端ということで、都市部もあれば、山間部もあるという地域性なんです。

ダニエル 方面隊ごとに色んな特徴がありそうですね！

私の近所でも消防団が消火栓から水を汲んで訓練しているのを見かけることがあります。この辺りではどんな風に訓練されていますか？

須藤団長 訓練の内容も方面隊ごとに地域の特性を考えて工夫していますよ！

例えば、浸水の心配があるところでは水害に備えた訓練をやり、土砂崩れの心配がある山間部では、土砂災害の訓練もやり。



寺崎方面隊長 西部方面隊では、毎月2回、1日

と15日に集まっています。1日は広報活動をしていますし、15日は消防技術の訓練を行っています。

夏場は、用水路の水を使って放水訓練を行うのですが、そうすることで、自然水利の活用能力も身につくように工夫しています。

用水路の水位が低いときには、消防署へ来て、防火水槽を使った常備消防との連携訓練も行っています。

植原局次長 10の方面隊がある中で、それぞれの特徴があります。

それをまとめる団長は非常にバイタリティに溢れています。



ダニエル バリエティ豊富ですね！ 方面隊を超えたコミュニケーションを取るときはおもしろそうですね！

でも、これだけバリエティに富んでいると、



合併した当初はお互いの違いなんかにも驚かれたんじゃないでしょうか!?

高橋方面隊長 備えている災害の種類や訓練方法が違って、地域の安心安全を守るという目的は同じです。

目指すところは一緒ですからね! すぐに一致団結しましたよ!

ダニエル 群馬県というと気になることが……。夏場の訓練は暑くないですか!?

寺崎方面隊長 暑いですよ! 特に近年は、異常気象が続いていて、しっかり水分補給しなからでないと熱中症になります。

ましてや防火衣を着ると、すごいですよ! 火災現場の活動に耐え得るように作られていますから、その分、暑いです!

防火衣を着装して活動するときは、長時間連続の活動にならないように特に気を付けないといけません。



台風第19号の対応

ダニエル 昨年の台風襲来の際には、この辺りはどうでしたか?

高橋方面隊長 令和元年東日本台風という名前が付きましてね。あのときはこの辺りでも初めて大雨特別警報が発表されました。

高崎市消防団においても全個分団を詰所待機

とし、有事に即応できる体制を確保するとともに、警戒広報や避難誘導等に当たりました。

ダニエル 川の氾濫は大丈夫でしたか?

長谷川方面隊長 吉井町にかぶらがわ鑄川というのがあるんですが、そこが増水すると、支流へ逆流する現象が発生してしまいます。台風第19号のときには逆流したところが2か所ありまして、その影響で、約70棟が浸水しました。

人的被害がなかったのは幸いでしたが、そのときの教訓を生かして、指揮命令系統を再確認したり、自然災害への対応能力の向上を図ったりといった研究をしています。



公務災害防止について

ダニエル 公務災害の防止についてはどんな取組をされていますか?

前川方面隊長 高崎市では操法大会を2年に1回開催しています。熱心に打ち込んで、チームワークもできてくる頃、一番怖いのがケガです。気持ちが熱く盛り上がってきても、頭は冷静に保って、過剰な負荷がかからないようにしなければいけません。



安全を守るための訓練なのに、ケガしてしまったりは元も子もないですからね。

小林方面隊長 団員それぞれの立場に役割があるので、広域支部会、分団長会、部長会、機関士会などで集まる機会を捉えて、必要な訓練や研修を行っています。消防基金の研修会も毎年のように活用させていただいています。



前川方面隊長 実は私も若い頃、火災現場の活動で、屋根から瓦が落ちてきて、唇を切ったことがありました。

ヘルメットを着装していたからその程度で済みましたが、もしヘルメットがなかったらもっと大けがになっていたかもしれません。

危険予知の能力も普段から身につけておく必要があります。



団員確保について

ダニエル 条例定数1,520人という大所帯で

すが、団員確保はどのようにされていますか？

高崎市消防団では、最近、学生の団員さんが増えたそうですね。

須藤団長 6つの大学と3つの短期大学がありますからね。毎年、市内の学園祭を訪問してPRしています。地震体験車のブースは大人気ですよ！

ほとんどの学生団員は卒業したら引っ越ししてしましますが、この年代に高崎市消防団で学んだことは、後々の人生においても災害に備える力になるでしょうし、ひいては日本の防災力の向上にもつながっているのだと思います。欲を言えば、引っ越した先でも消防団に入団してほしいですし、卒業後も高崎市に残って就職する人には引き続き高崎市消防団で活躍してほしいです(笑)。

ダニエル 他市町村でも学生団員さんがどんどん増えれば、学生時代に他の消防団に入っていた人が卒業後に高崎市の消防団に入ってくれることもこれから出てくるかもしれないですよ！

そんな中、元々地元に住んでいる方へのアプローチも大事ですね。



須藤団長 そうなんです。高崎市消防団を長く背負っていく団員も育成したいですからね。

ダニエル 元々地元に住んでらっしゃる方

に対してはどんなアプローチをしていますか？

松本方面隊長 地域の方のご協力をいただいて、回覧板に消防団のPRをさせていただいています。

また、「どんど焼き」や祭りなどの機会を捉えて消防団車両を展示するなど、消防団のPRを続けています。



小林方面隊長 今いる団員へのフォローアップも重要です。せっかく入団してくれてもすぐに退団してしまったらもったいないですからね。そういった面も考慮して、現役団員の福利厚生充実として、団員を支える御家族の皆さんも交えてバーベキューなどのイベントを行っています。



中里方面隊長 祭りなどの地元の行事は、地元を盛り上げようという住民一人ひとりの気持ちで支えられているものだと思います。

消防団も地元を支える一員です。みんなで支えているわけです。

そういった住民同士の協力の場に積極的に参

加して、さりげなく防災意識の啓発というエッセンスを散りばめることで、地域防災力も向上するでしょうし、消防団に対する住民の方々からの理解にもつながるのではないかと考えています。

ダニエル 花火とか祭りは夏場のイベントですから、先ほども話題になりましたが、これも暑い中での活動になりますね。



野尻方面隊長 祭りの暑さ対策では、実は昨年、とても好評だった取組があるんです。

「高崎まつり」というのがありますが、昨年は会場の18か所で消防団員が散水したんです。打ち水効果を狙ったものですが、アスファルトが冷やされて神輿を気持ちよく担ぐことができましたし、山車を曳く子どもたちも楽しそうに噴霧放水の水浴びをしていました。



来場者からは、ユニークなおもてなしに感動したという言葉が届きました。

日頃の放水訓練で身につけてきた技術を祭り

会場での散水に応用するという消防団ならではの取組でした。



ダニエル 伝統ある祭りの会場で、伝統ある消防団が日本伝統の打ち水で会場を盛り上げる！ 高崎市消防団ここにありですね！

最後に、全国の読者に向けて高崎市消防団のPRをお願いします。

須藤団長 私たち高崎市消防団は、バラエティ豊かな地域性の方面隊が集まって構成され



ています。団員たちは、それぞれに特徴のある方面隊に所属していますが、皆が地元愛溢れる気持ちでつながっています。

近年、自然災害により各地で甚大な被害が多発していますが、私たちは益々精進し、いかなる災害にも立ち向かえるよう訓練していきますので、これからも高崎市消防団をよろしく願います。



対談を終えて

高崎市にはよく訪れるのですが、この街で生まれ育ち、あるいは、学び、働いている団員の皆さんからお話を伺ってみると、雑誌や番組とはひと味違った景色が見えてきました。

日々少しずつ、でも着実に前に進む高崎市。そしてそんな高崎市の日常に向き合い続ける消防団員の皆さんの志。

対談している最中は、私も高崎市民の仲間に入れていただいているような感覚でした。また訪れる機会があるかと思いますが、そのときも仲間に入れてくださいね！

高崎市消防団の皆さんの益々のご活躍をお祈りしています。
(ダニエル・カール)